



牛を育て、
湯を見守る
日々です。

火の国阿蘇の
恵みのブランド

灸
zen
A s o C i t y

夫婦ですっと畜産業を営んできた。

「牛を育ててきました。命あるもの相手の仕事ですから
きついこともありますが、よろこびのほうが多い」

と女将の井直子さんは言う。

熊本県の職員だった義父が退職して始めた旅館。

義父が病に倒れ、こころざしなかばで他界したあと

夫婦で遺志を継いでいくことになった。

畜産業との掛け持ちだ。

丹念に育てた牛肉の味の豊かさがリピーターに愛されている。

「主人は、湯のよさを誇りにしています」

天然掛け流しの露天風呂。阿蘇の風が吹いてくる。

牧舎の仕事時代からの古い付き合いの婦人と

料理のアイデアを出し合う。

その時間が、いちばんゆったりしているんです。

内牧荘 井直子

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。